

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号		0008		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		電子機械工学専攻		対象学年		専1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材							
担当教員		西澤 辰男,金子 義幸,埒 正浩,今度 充之,笹谷 輝彦,東山 浩士					
到達目標							
1. 技術者倫理について、科学技術、法および倫理の観点から、その基本的な事項を理解する。 2..技術者が社会や自然環境に対して負っている責任の重さを理解する。 3. 技術者の行為を多面的に考えられる視野と教養を養う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標項目1		技術者倫理の必要性、基本的な観点を理解している		技術者倫理の必要性を理解している		技術者倫理の必要性を理解していない。	
到達目標項目2		.技術者が社会や自然環境に対して負っている責任の重さを理解している。		技術者が社会や自然環境に対して負っている責任を理解している。		技術者が社会や自然環境に対して負っている責任を理解していない。	
到達目標項目3		技術者の行為を多面的に考えられる視野と教養がある。		技術者の行為を多面的に考えられる視野がある。		技術者の行為を多面的に考えられる視野がない。	
学科の到達目標項目との関係							
創造工学プログラム C3 創造工学プログラム D2							
教育方法等							
概要		技術者倫理について、科学技術、法および倫理の観点から、その基本的な事項を理解し、それを実践する技術者を目指す。また、技術者が社会や自然環境に対して負っている責任の重さを理解し、技術者の行為を多面的に考えられる視野と教養を養う。					
授業の進め方・方法		中間試験および期末試験を実施する。 事例に関するレポートを課す（授業外学修時間に相当する課題として取り組むこと）。					
注意点		【評価方法・評価基準】試験（４０％）、レポート評価（６０％）。成績の評価基準として60点以上を合格とする。 日常から社会的なさまざまな問題に関心をもつことが大切です。 論理的な文章を書く訓練をしてください。 技術士の方に身近な技術者倫理に関する事例を報告してもらう予定です。 2年次開講の環境技術では関連するレポート課題が出されるので、あわせて総合的に評価します。 履修の先修条件：履修可能なすべての基盤学科から接続を配慮して、必要な基礎知識をその都度説明します。					
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	倫理概論		到達目標1		
		2週	技術（者）倫理とは		到達目標1, 2		
		3週	地域への責任（福島原発問題）		到達目標3		
		4週	消費者・使用者への責任（製造物責任）		到達目標1～3		
		5週	倫理的ジレンマ		到達目標1～3		
		6週	まとめ		到達目標1～3		
		7週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		8週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
	2ndQ	9週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		10週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		11週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		12週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		13週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		14週	技術士による技術者倫理の事例報告（１）		到達目標1～3		
		15週	前期の復習		到達目標1～3		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。		3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。		3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。		3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	法令やルールを遵守した行動をとれる。		4	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。		4	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。		4	

評価割合			
	試験	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	40	60	100
基礎的能力	10	0	10
専門的能力	10	0	10
分野横断的能力	20	60	80